

ヨハネの福音書 第20章 19節

「その日、すなわち週の初めの日の夕方のことであった。弟子たちがいた所では、ユダヤ人を恐れて戸がしめてあったが、イエスが来られ、彼らの中に立って言われた。『平安があなたがたにあるように。』」

その日です。特別な日です。ユダヤ人が重んじる安息日ではありません。週の初めの日の出来事です。初めの日の早朝に主イエス・キリストがよみがえりました。時の区切りが安息日から週の初めの日、日曜へと変わった出来事の日です。その日の夕方弟子たちは怯えて家の戸に鍵をかけ閉じこもっています。イエスさまを亡き者にしたユダヤ人たち、手をくだしたローマ兵の追手を恐れるあまり家に閉じこもっていたのです。

十字架の主イエスを見捨て、あの丘に背を向け、転げ落ちるように散った弟子たちです。夜陰にまぎれて隠れ家に潜みます。

そこに主イエスが来られます。誰をも入れたくない、避けたい、隠れたいところに主イエスが入ってきます。来てほしくないところに入ってきます。そして、彼らの真ん中に立たれます。彼らの恐れの中中に立ちます。そして、言うのです、「平安があなたがたにあるように。」彼らが失いかけている平安、今の彼らに最も必要な平安を願ってくださる主イエスです。

2024年4月4日